

2018年4月26日

「東京第10データセンター」を新たに提供開始し、 インフラ基盤を統合したハイブリッド ICT ソリューションを強化

NTT コミュニケーションズ株式会社（以下 NTT Com）は、新たに「東京第10データセンター」（以下 本データセンター）の提供を本日開始します。これにより、データセンター、クラウド、ネットワークのインフラ基盤を統合したハイブリッド ICT ソリューションを強化します。

1. 背景・概要

近年、企業のデジタルトランスフォーメーションが進む中、お客さまが求める ICT 環境は、これまでの基幹業務に適した「セキュアで信頼性の高い ICT」と、AI・IoT・Fintech（フィンテック）※1などの新しいビジネスに適した「柔軟で俊敏性の高い ICT」の2つの ICT 環境の併用が重要になり、複雑化・多様化しています。

そこで、NTT Com は、業界トップレベルの信頼性を備えた本データセンターにおいて、企業向けクラウドサービス「Enterprise Cloud」や高品質・高信頼な各種ネットワークサービス、およびコロケーション・クラウド間接続サービス「SD-Exchange」などのインフラ基盤を統合したハイブリッド ICT ソリューションを提供します。これにより、お客さまが求める ICT 環境を実現し、複雑かつグローバルなシステム拡張にも迅速に対応します。

「東京第10データセンター」の外観イメージ



2. 提供サービス・提供価値

(1) 業界トップレベルの信頼性を備えた「東京第10データセンター」

東京都心近郊の三鷹市に位置する本データセンターは、株式会社 NTT データが建設した国内最大級の「NTT DATA 三鷹データセンター-EAST」（以下 三鷹 EAST）において、NTT Com 専用のスペースを確保して提供します。Nexcenter™※2 が定める厳格な設備・運用基準に準拠し、クラウドや ICT サービス事業者、ミッションクリティカルな金融機関など幅広い企業のお客さまを対象に提供します。

三鷹 EAST が立地する地域は、東京都発表の「地震に関する地域危険度測定調査」において、最も危険度が低いとランク付けされています。建物には、通常の水平方向の免震装置に加え、直下型地震の垂直方向の揺れも抑える「縦揺れ制震ダンパー」を備えた高性能免震構造を採用しています。

通信ネットワークは、大型の通信用耐震トンネル「とう道」から引き込むことにより、一般的なデータセンターに比べて、より高い安全性を確保しています。

電力は、常時二系統で供給されることに加えて、万一、被災や故障により変電所が不能になった場合でも、別の2カ所の異なる変電所へ切り替えて受電が可能な業界トップレベルの信頼性を実現しています。さらに、データセンター内の電力設備、空調・セキュリティ用電源、通信設備をすべて冗長化することにより、24時間365日にわたり、安全で安定した環境を提供します。

さらに、お客さま自身でデータセンター内のシステム運用状況の確認やラック内の機器の配線を管理できるDCIM（データセンター インフラ マネジメント）、ならびにNTT Comによる機器監視、技術サポート、プロジェクトマネジメント、およびセキュリティ・通信・ストレージなどのサービスをNexcenter™として提供することで、お客さまのシステムの安定稼働と運用負荷の軽減を支援します。

[別紙]「東京第10データセンター」の標準仕様

(2) 企業向けクラウドサービス「Enterprise Cloud」

NTT Com は、現在世界 11 カ国 19 拠点で展開している企業向けクラウドサービス「Enterprise Cloud」（以下 ECL）を、本データセンターにおいても提供予定です。専有型クラウドと、OpenStack などを採用した共有型クラウドから構成される ECL は、お客さまの基幹システム向けの信頼性と可用性を兼ね備えた利用と、俊敏性・柔軟性を重視する利用の双方に対応した環境を実現します。

(3) 高品質・高信頼なグローバルネットワーク

本データセンターは、NTT Com のネットワークインフラ基盤に直結することにより、コロケーション・クラウド間接続サービス「SD-Exchange」やNFV・SDN 技術を活用したグローバルVPN ネットワークサービス「Arcstar Universal One」、インターネットコネクティビティ「OCN」、「グローバル IP ネットワーク」などの大容量かつ高品質・高信頼なネットワークサービスをタイムリーにご利用いただけます。お客さまは、世界各国で利用できる共通システムの構築や、グローバルレベルのBCP・DR^{※3}環境の構築が容易に実現可能です。

NTT Com は、ハイブリッド ICT ソリューションの強化により、今後もお客さまのデジタルトランスフォーメーションを支援していきます。

※1： Fintech（フィンテック）は、「finance（ファイナンス）」と「technology（テクノロジー）」を掛け合わせた造語であり、ファイナンス・テクノロジーの略。

※2： Nexcenter™は、NTT Com のデータセンターサービスブランドです。

世界 20 以上の国・地域で、高品質データセンターサービスを提供しています。

※3： BCP は、Business Continuity Plan の略。緊急事態でも事業を継続できる方法・手段の計画のこと。DR は、Disaster Recovery の略。災害時に備えたシステム、システム復旧体制のこと。

[別紙]「東京第 10 データセンター」の標準仕様

所在地	東京都三鷹市（最寄りの駅からバスで約 10 分） 新宿駅から約 12km	
建物	構造・階数	鉄骨造 4 階建て 免震構造
	耐震性	建物への水平方向の衝撃を最大 80%低減 直下型地震の垂直方向の衝撃を最大 40%低減 東日本大震災クラスの地震でも倒壊しない耐震性を確保
	建物延床面積（終局）	約 38,000 m ²
	二重床耐荷重	約 1,500Kg/m ² 以上
電力設備	受電	特別高圧受電 二系統引込み 切替により 3 変電所が利用可能
	非常用発電装置	N+1 冗長構成 72 時間以上無給油運転可能
	UPS	標準: N+2 冗長構成 バッテリー保持時間 10 分
空調設備	水冷式（空冷モジュールチラー方式） N+1 冗長構成 冷気壁面吹出し方式	
消火設備	超高感度煙検知装置 煙感知/熱感知装置 窒素ガス消火システム	
セキュリティ設備	Web を用いた専用システムによる事前申請 IC カード+生体認証+セキュリティゲートによる入室 監視カメラ、ラック個別施錠 金融機関などのお客さまが必要とする高セキュリティ カスタマイズが可能	
その他設備	レンタルオフィス、会議室、無線 LAN、ラウンジ、スタンディングルーム	
通信環境	災害に強い「とう道」に直結 各種 NTT Com 通信サービスノードにダイレクト接続	
保守・運用サービス（24/365）	機器監視、技術サポート、プロジェクトマネジメント、およびセキュリティ・通信・ストレージなどの関連サービスが利用可能	
グリーン指標	PUE: 1.3 以下（年間平均、建物全体設計値）	
各種認証（取得予定含む）	ISO27001 ISO22301 FISC 安全対策基準に準拠 LEED Gold	